

博物館・資料館利用の手引き



令和 5 年 4 月

庄原市教育委員会

目 次

表紙	1
目次	2
庄原市の博物館・資料館.....	3~5
博物館・資料館利用の流れ.....	6
博物館・資料館見学バスの利用について	7
プログラム	
・博物館・資料館見学（全館）	8
・庄原市埋蔵文化財センター見学（埋蔵文化財センター）	9
・勾玉づくり（埋蔵文化財センター）	10
・火起こし体験（埋蔵文化財センター）	11
・土器パズル（埋蔵文化財センター）	12
・土製品製作体験（埋蔵文化財センター）	13
・銅鍬鑄造体験（埋蔵文化財センター）	14
・短甲試着体験（埋蔵文化財センター）	15
・古代製鉄炉模型観察（庄原市歴史民俗資料館）	16
・丸瓦作り体験（埋蔵文化財センター）	17
・わらない・わら道具体験（埋蔵文化財センター）	18
・炭を使った道具体験（埋蔵文化財センター）	19
・羽釜でご飯炊き体験（埋蔵文化財センター）	20
・100年前の機器体験（口和郷土資料館）	21
・音響機器体験（口和郷土資料館）	22
・テレビ体験（口和郷土資料館）	23
・映像機器体験（口和郷土資料館）	24
・囲炉裏の間体験（口和郷土資料館）	25
・どこでも昆虫採集（比和自然科学博物館）	26
・どこでも植物観察（比和自然科学博物館）	27
・標本の貸出し（比和自然科学博物館）	28
・昔の家を見てみよう（生涯学習課）	29
・身近な遺跡を視てみよう（生涯学習課）	30
・石器を見てみよう（時悠館、埋蔵文化財センター）	31
・土器を見てみよう（時悠館、埋蔵文化財センター）	32
・伝統芸能体験（生涯学習課）	33

庄原市の博物館・資料館

●庄原市比和自然科学博物館

庄原市比和町比和 1119 番地 1 Tel: 0824-85-3005

開館時間：9:00～17:00

休館日：年末年始（12月29日～翌年1月4日）

入館料：一般（高校生以上）310円／団体（20名以上）250円

中学生以下無料

（各種減免制度有）

●庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館

庄原市東城町帝釈末渡 1909 番地 Tel: 08477-6-0161

開館時間：9:00～17:00

休館日：水曜日、年末年始（12月29日～翌年1月4日）

入館料：一般（高校生以上）410円／団体（20名以上）330円

中学生以下無料

（各種減免制度有）

●庄原市口和郷土資料館

庄原市口和町永田 9 番地 Tel: 0824-87-2230

開館時間：9:00～17:00

休館日：火・水・金・日曜日、年末年始（12月29日～翌年1月4日）

入館料：無料

●庄原市歴史民俗資料館／倉田百三文学館

庄原市西本町二丁目 20 番 10 号 庄原市田園文化センター内 Tel: 0824-72-1159

開館時間：10:00～17:00

休館日：月曜日、年末年始（12月29日～翌年1月4日）

入館料：無料

【その他連絡先】

庄原市教育委員会 教育部

生涯学習課 文化振興係

電話：0824-73-1189 FAX：0824-73-1254

E-mail：syogai-bunka@city.shobara.lg.jp

西城教育室：0824-82-2121 東城教育室：08477-2-5111

口和教育室：0824-87-2111 高野教育室：0824-86-2111

比和教育室：0824-85-3005 総領教育室：0824-88-3060

庄原市立比和自然科学博物館

管 理 者	館長 進藤 眞基
所 在 地	〒727-0301 庄原市比和町比和 1119 番地 1
電話番号	0824-85-3005
F A X	0824-85-3006
H P	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/cat01/01/post_197.html
メー ル	soumu-hiw@city.shobara.lg.jp



◆目標

テーマ : 中国山地の自然と人とのかかわり
 ビジョン : 中国山地の魅力を発信する博物館
 ミッション : 広島県内唯一の自然史系博物館としての知的遊園地機能の発揮

◆運営方針

- ・中国山地の魅力発信と知的遊園地の基礎となる館運営
- ・広島県唯一の自然史系博物館としての収集保管
- ・知的遊園地として驚き、発見、感動を与える調査研究
- ・博物館による魅力ある学習支援と積極的な情報発信
- ・地域に誇れる博物館の確立のための連携推進

◆特色ある活動

- ・県内唯一の自然科学博物館として、自然科学の調査研究や寄贈資料の整理を進め、所蔵資料の貸出等を通じた社会への還元を行うとともに、積極的な公開・普及活動を行う
- ・吾妻山グリーンラリー(樹木検索等学習)や昆虫採集及び標本づくり教室等の博物館公開講座を開催し、自然科学への興味や関心を喚起する啓発事業を実施する。
- ・宮島水族館交流事業による連携講座を実施し、両館が得意とする研究分野により協力し、自然科学への興味や関心を喚起する啓発事業を実施する。

庄原市帝釈峡博物展示施設時悠館

管 理 者	館長 高木 保
所 在 地	〒729-5244 庄原市東城町帝釈未渡 1909 番地
電話番号	08477-6-0161
F A X	08477-6-0162
H P	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/cat01/post_214.html
メー ル	jyuu-tou@city.shobara.lg.jp



◆目標

テーマ : 全国に誇れる帝釈峡遺跡群と帝釈峡の自然
 ビジョン : 帝釈峡と人々をつなぐビジターセンター
 ミッション : 帝釈峡遺跡群及び帝釈峡の地域資源としての活用と継承

◆運営方針

- ・帝釈峡全体の活性化につながる館運営
- ・立地と資料の専門性を活かす収集保管
- ・地域資源に磨きをかける調査研究
- ・ビジターセンターとしての教育普及
- ・帝釈峡の魅力を引き出す連携啓発

◆特色ある活動

- ・「上帝釈へ多くの観光客に訪れてもらい、引いては帝釈峡全体の活性化につなげる目的」で整備された施設としての、「原点」に立ち返る。
- ・「帝釈峡のビジターセンター」として、時悠館友の会、帝釈文化研究会、帝釈自治振興区、帝釈峡観光協会、東城町文化財協会、市内小中学校、広島大学等、多様な主体と連携して帝釈峡及び国定公園周辺の魅力を共に掘り起こし、発信する。
- ・利用者に「驚き・発見・感動」を与える博物館活動を行う。

庄原市口和郷土資料館

管 理 者	館長 安部 博良
所 在 地	〒727-0114 庄原市口和町永田9番地
電話番号	0824-87-2230
F A X	—
H P	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/cat01/03/post_1174.html
メー ル	kuchiwa-shiryokan@city.shobara.lg.jp



◆目標

テーマ : 先人の「知恵と技」が吹き込まれた昔の道具
 ビジョン : 先人の「知恵と技」が息づく、木造校舎のレトロな郷土資料館
 ミッション : 道具に息づく先人の「知恵と技」への学びと継承

◆運営方針

- ・「おもてなしの心」は最高の地域資源
- ・系統的な資料収集と分類整理、動態展示のための修復
- ・収蔵資料の修復に関する絶えざる技術研究
- ・驚き、発見、感動のある「動態展示」と体験学習
- ・将来を見据えた人材育成と連携推進

◆特色ある活動

- ・系統的な資料収集を行い、ジャンル・時代別等に分類整理するとともに、当館最大の魅力である音響・映像機器の動態展示に必要な修復を行い、企画展を計画する。
- ・多くの方から寄贈された、数万枚のEP・SP・LPレコードをデータベース化し、ホームページ他 SNS を活用し、情報発信を行う。
- ・古き良きレトロな収蔵品の動態展示に努めるとともに、観て触れて楽しく学べる「面白体験教室」等、体験学習を開催する。

庄原市歴史民俗資料館/倉田百三文学館

管 理 者	館長 花田 譲二
所 在 地	〒727-0013 庄原市西本町二丁目 20 番 10 号 庄原市田園文化センター内
電話番号	0824-72-1159
F A X	0824-72-1619
H P	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/cat01/post_1458.html
メー ル	bunka-center@city.shobara.lg.jp



◆目標

	庄原市歴史民俗資料館	庄原市倉田百三文学館
テ ー マ	庄原市の古代から近代へ亘る歴史文化	倉田百三とゆかりの地
ビ ジ ョ ン	歴史文化を学びにつなげる資料館	市民に親しまれる倉田百三文学館
ミ ッ シ ョ ン	歴史文化の再発見と学びの拠点	庄原市ゆかりの文学者倉田百三の情報拠点としての充実

◆運営方針

- ・市立図書館、倉田百三文学館、庄原市歴史民俗資料館の複合施設としての施設設備を充実し、学習環境の整備を図り、市民一人一人が行う生涯学習への援助を行う。
- ・常設館及び多目的ホールの有効的な活用を推進するとともに、利用者相互の連携及び情報交換・交流の場を提供し、芸術文化の創造に貢献する。

◆特色ある活動

- ・「赤ちゃんが絵本にふれあう活動」事業の実施
- ・ボランティアと連携した『おはなし会』の開催
- ・おはなしボランティア養成講座の開催
- ・企画展示等の読書活動関連事業の実施（新刊紹介、展示、特別企画展コーナーの設置）
- ・県美展（巡回展）、市美展の開催
- ・文化講演会等の開催

博物館・資料館利用の流れ

1. 申し込み

別添の利用申込書を、利用を希望するプログラムを実施している博物館や資料館等へ、メールやFAX等でご提出ください。また、プログラムによっては各学校に講師を派遣することも可能ですので、内容について詳しく知りたい場合などは、お気軽にお問い合わせください。

利用日時については、講師の都合や他の利用希望者との日程調整等で、必ずしもご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

2. 打ち合わせ

お電話か、実際に館までお越しただいて、詳細について打ち合わせ、決定いたします。

また、物品を貸し出しする場合には、取り扱いについてレクチャーいたします。

3. 当日

事前の打ち合わせに沿って、各学習プログラムを実施いたします。

4. 事後報告

任意の様式にて、実施報告をお願いしています。各プログラムの改善や見直し等の参考にいたしますので、ご協力をお願いいたします。

※この冊子・各様式は庄原市のホームページでもダウンロードできます。

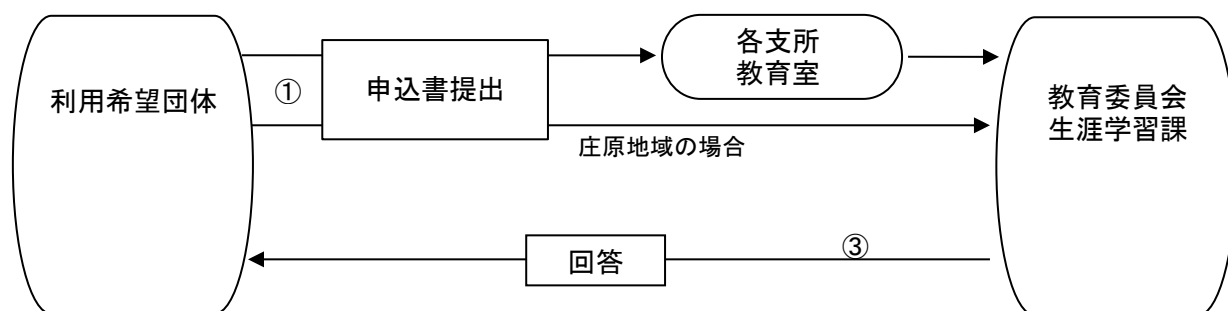
http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/education/shisetsu/cat01/post_196.html



博物館・資料館見学バスの利用について

庄原市内の博物館・資料館のご利用や、文化財の見学を希望する市内の団体を対象に、生涯学習課が費用を負担し※、市役所のバスを貸出すことができます。お申し込みの際に、別途ご相談ください。

※予算範囲内に限る



バス利用フローチャート

- ① マイクロバス配車申込書に必要事項をご記入の上、教育委員会宛に提出してください（※要事前連絡）
- ② 教育委員会よりバス利用の申込みを行います。
※申込み状況により、利用できない場合があります。
- ③ バスの利用が確定後、教育委員会より利用決定通知をいたします。
- ④ 見学の内容が決定後、見学先の博物館・資料館や文化財等を見学します。

※1 別の予約や点検等のため使用できない場合があります。

※2 利用希望の前月 20 日までに利用希望の旨をお知らせください。

※3 マイクロバスは 28 人乗り（運転手を除く）です。人数が超過する場合はご相談ください。

博物館・資料館見学



実施している館

・全館

実物を実際に間近で見ること、教科書で学ぶ以上の学習効果が期待できます。

また、庄原の歴史・文化・自然について、体系的に学ぶことができます。理科や社会科、地域の学習に最適です。

普段公開していない、収蔵室などの『博物館の裏側』の見学も可能です（要相談）

利用方法

- ・各館へ直接申し込み
（カリキュラムの内容について、担当者と事前に要打ち合わせ）

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・生活科
- ・理科
- ・社会科

中学校

- ・理科
- ・社会科

庄原市埋蔵文化財センター見学



実施している館
・埋蔵文化財センター

平成 30 年度にオープンした「庄原市埋蔵文化財センター」は、市内の埋蔵文化財を一同に集めて保管している施設です。

展示室では、埋蔵文化財の仕事の様子、市内遺跡の紹介、埋蔵文化財の紹介をしています。

地域の文化財・歴史の授業等に利用いただけます。

※例えば、当施設で展示見学をするとともに、勾玉作りなどと合わせて利用することも可能です。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(市教委の担当者が対応します。)
- ・所要時間：1 時間程度
- ・活動人数：要相談

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 歴史(6年)

中学校

- ・社会科(日本史)

まがたま
勾玉づくり



実施している館
・埋蔵文化財センター

滑石（かっせき）というやわらかい岩石の一種を使い、紙やすりで削って古代のアクセサリ「勾玉」づくりを体験します。

石がだんだんと勾玉の形になり、それをつるにしていく行程は、子どもだけでなく大人も夢中になってしまいます。

できあがったオリジナルの勾玉は持ち帰ることができます。

※新聞紙、ビニールシート等の準備をお願いすることがあります。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
（材料の準備等が必要になりますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください）
- ・材料費：200円
- ・所要時間：1～2時間程度
- ・活動人数：～30人程度（上回る場合は要相談）

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ（6年）

中学校

- ・社会科（日本史）

火起こし体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

「弓ぎり」「舞ぎり」といった道具を使って、古代の火起こしを体験します。昔の人々の生活の苦勞や知恵を学ぶことができ、また体験を通して歴史をより身近に感じることができます。

実際に火が点いたときには歓声があがります！

※雨天時など、状況によっては火が点きにくい場合があります。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(材料の準備等が必要になりますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・所要時間：1時間程度
- ・活動人数：～30人程度(上回る場合は要相談)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 かわってきた人々の暮らし(3年)
- 縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会科(日本史)

土器パズル



実施している館
・埋蔵文化財センター

実際に庄原市内の遺跡から出土した土器や埴輪をモチーフにした土器のパズルです。

考古学者の気分になってパズルを楽しみながら、土器の形を学ぶことができます。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
- ・所要時間：30分程度
- ・活動人数：～30人程度（上回る場合は要相談）

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ（6年）

中学校

- ・社会科（歴史）

土製品製作体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

庄原市内の遺跡からは、銅鐸形土製品（どうたかがたどせいひん）という土製の銅鐸が出土しています。

シリコン製の鋳型を使って、この土製品の製作を体験します。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
- ・材料費：200 円
- ・所要時間：1 時間程度
- ・活動人数：～10 人程度（上回る場合は要相談）

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ（6 年）

中学校

- ・社会科（歴史）

どうぞくちゅうぞう
銅鏃鑄造体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

庄原市内の古墳から出土した銅鏃(どうぞく)＝青銅製の矢じりをモチーフにした鑄造体験です。

低融点合金を使って、古墳時代の鑄造技術を体験します。金属を溶かして固めるという、普段は難しい体験ができます。

できた矢じりは磨くとピカピカになります。もちろん、持ち帰っていただけます。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(材料の準備等が必要になりますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・材料費：400円(要相談)
- ・所要時間：30分程度
- ・活動人数：～10人程度(上回る場合は要相談)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会科(日本史)

たんこう
短甲試着体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

庄原市内の古墳から出土した短甲（よろい）の復元品を試着します。

教科書で見るだけでは分からない、実際の重さや着心地を体験できます。体験を通して歴史をより身近に感じることができます。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
- ・所要時間：30分程度
- ・活動人数：何人でも

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ（6年）

中学校

- ・社会科（日本史）

古代製鉄炉模型観察



実施している館

・庄原市歴史民俗資料館

庄原では古くから製鉄が盛んに行われていたことが各地の遺跡の調査結果から分かっています。

市内の遺跡で発見された、古代の製鉄炉を復元した模型を観察して、鉄作りについて学ぶとともに、郷土の歴史についての興味を喚起します。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
- ・所要時間：30分程度
- ・活動人数：何人でも

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会科(日本史)

丸瓦作り体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

庄原市内の遺跡からは、丸瓦という古代の瓦が出土しています。

シリコン製の鋳型と粘土を使って、古代の瓦づくりを体験します。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(材料の準備等が必要になりますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・材料費：200円
- ・所要時間：45分程度
- ・活動人数：～10人程度(上回る場合は要相談)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会科(日本史)

わらない・わらを使った道具体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

人類ははるか昔から稲わらをはじめとする植物で様々な道具を作り、生活に利用してきました。縄や草鞋、草履などが代表的です。現代の日本ではそのようなわら製品を実際の生活で見かけることは少なくなりましたが、つい数十年前までは、実際にそのようなわら製品を自分達で作り生活していました。

「わらない」を実際に体験し、わらで作られた道具に実際に触れることで、昔の人たちの暮らしを知り、現代の暮らしとの違いを学ぶことができます。

※ビニールシート等の準備をお願いすることがあります。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(外部講師に依頼する場合がありますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・所要時間：1～2 時間程度
- ・活動人数：～30 人程度(上回る場合は要相談)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 かわってきた人々の暮らし(3年)
縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会科(日本史)

炭を使った道具体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

現在ではガスや電気を利用している道具も、それらが普及する前は別の力を利用していました。そのような道具のうち、炭を使っていた道具を実際に体験することで、昔の人たちの暮らしを知り、現代の暮らしとの違いを学びます。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(外部講師に依頼する場合がありますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・所要時間：1～2時間程度
- ・活動人数：～30人程度(上回る場合は要相談)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 かわってきた人々の暮らし(3年)

羽釜でご飯炊き体験



実施している館
・埋蔵文化財センター

現代の日本でのご飯炊きには、電気炊飯器を使うのが一般的です。

しかし、かつては「すくもくど」という籾殻かまどでご飯を炊いていました。この「すくもくど」と羽釜を使って実際に炊飯し、昔の人たちの暮らしを知り、現代の暮らしとの違いを学びます。

ご飯が炊けたら、もちろん試食タイムです。特におこげは最高ですよ！

※炊飯するお米の準備をお願いします。

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(外部講師に依頼する場合がありますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・所要時間：1～2時間程度
- ・活動人数：～10人程度(上回る場合は要相談)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 かわってきた人々の暮らし(3年)

100年前の機器体験

実施している館

- ・ 〇和郷土資料館

○100年前の音体験

- ・ 100年前の音楽を、100年前の蓄音機で聴き、今と昔の「音」の違いを比べてみましょう。
- ・ 100年前はどのような仕組みで、音を聴いたのか調べて見よう。

昔のレコードを聞こう

SPレコード



利用方法

- ・ 館へ申し込み
(資料作成のため 1 月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・ 所要時間：
100年前の音体験 20分から30分
100年前の電話体験 20分

○100年前の電話体験

- ・ 100年前の電話機はどのように使うのでしょうか？
- ・ 今とどのように違うのか体験しましょう。



2階

デルビル磁石式電話機
1897年



1階

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・ 社会科 道具とくらしのうつりかわり(3年)

音響機器体験

実施している館

・ 口和郷土資料館

○ジュークボックス体験

・ 自動で動く機械がレコードを再生する様子を見て、音楽を聴く体験をする。

【動き】

レコードを
取り出す



レコードをきく



ボクニオマカセ..!

100曲から、希望の曲をロボットが演奏します。

○モールス信号体験

・ トンツで話をしてみましょう。

利用方法

・ 館へ申し込み
(資料作成のため 1 月前を目途に、お早めにお申し込みください)

・ 所要時間：

ジュークボックス体験 10分

モールス信号体験 15分

カリキュラムでの活用例

小学校

・ 社会科 道具とくらしのうつりかわり (3年)

テレビ体験

実施している館

・ 〇和郷土資料館

○昔のテレビを体験

- ・ 今と昔のテレビでは、どのように違うのでしょうか。
- ・ どのように映るのか、体験をしましょう。



○テレビ局を体験

- ・ テレビ局の仕組みはどのようになっているのでしょうか。
- ・ どのように番組を作るのか、本物のカメラや映像編集機の操作体験をしましょう。



利用方法

- ・ 館へ申し込み
(資料作成のため1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・ 所要時間：
昔のテレビを体験 10分
テレビ局を体験 10分

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・ 社会科 道具とくらしのうつりかわり(3年)

映像機器体験

実施している館

・ 〇和郷土資料館

○映写機の見学もできます (映画)

- ・ 昭和初期の映写機でなつかしい映像を見ることができます。
- ・ 資料館所蔵の映画を大画面で見ることができます。



利用方法

- ・ 館へ申し込み
(資料作成のため 1 月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・ 所要時間：
映写機の見学 20 分から 30 分
昔の写真体験 10 分
「音」を見よう 10 分

○昔の写真体験

- ・ 100年前のカメラ(写真機)の仕組みと、どのように写すのか体験しましょう。



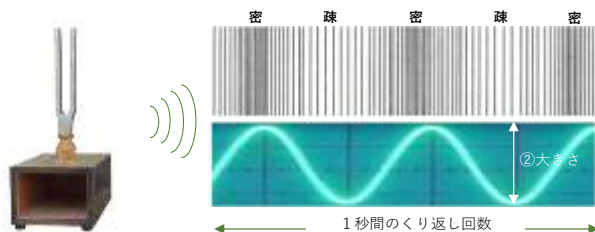
カリキュラムでの活用例

小学校

- ・ 社会科 道具とくらしのうつりかわり(3年)

○「音」を見よう

- ・ 音を見て、どのようなものか、調べよう。
- ・ 自分の声はどうなっているのか見てみよう。



囲炉裏の間体験



実施している館

・ 〇和郷土資料館

〇和町にあった古民家の囲炉裏の間を譲りうけ、移築しています。

当時、使用されていた道具や食器類も展示しています。

昭和 20 年代の生活空間を体験できます。

利用方法

・ 館へ申し込み
(資料作成のため 1 月前を目途に、お早めにお申し込みください)

・ 所要時間：15 分から 20 分

カリキュラムでの活用例

小学校

・ 社会科 道具とくらしのうつりかわり (3 年)

どこでも昆虫採集



実施している館
・比和自然科学博物館

昆虫は地球上でもっとも繁栄した生き物で、海中以外のありとあらゆる環境に進出しています。

では、自分たちの身近にどんな昆虫がいるのでしょうか？ 実際に捕まえて調べてみましょう。いつでも（冬でも！）、どんな街中でも昆虫は見つかります。身近な自然に驚くような発見が眠っているかもしれません。

※捕虫網等の準備をお願いします。

利用方法

- ・館へ直接申し込み
（外部講師に依頼する場合がありますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください）
- ・所要時間：1.5 時間～
- ・活動人数：要相談

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・理科 自然の観察（3年）
季節と生き物（4年）

中学校

- ・理科 自然と人間（分解者の観察）

どこでも植物観察



実施している館

- ・比和自然科学博物館

私達は植物に囲まれて暮らしています。

では、自分たちの身近にどんな植物があるのでしょうか？ 普段目にしている木々や草花はどんな名前なのでしょうか？ 実際に調べてみましょう。身近な自然の奥深さを知ることができます。

利用方法

- ・館へ直接申し込み
(外部講師に依頼する場合がありますので、1月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・所要時間：1.5 時間～
- ・活動人数：要相談

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・理科 自然の観察（3年）
季節と生き物（4年）

標本の貸出し



博物館には膨大な数の標本が収集されています。それらはすべて学問の発展のための基本的な材料として集められたものです。

標本を観察することで、生きているときには難しいからだの作りをじっくり調べることや、自然の中ではなかなか見つからないものを調べることができます。

利用方法

- ・館へ直接申し込み
(物品の貸出しのみとなります。講師依頼の際は別途ご相談ください。)

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・理科 自然の観察 (3年)
季節と生き物 (4年)
流れる水のはたらき (5年) 他

中学校

- ・理科 動物の仲間と生物の進化

昔の家を見てみよう



実施している館

- 生涯学習課

庄原市には「荒木家住宅」（写真）と「堀江家住宅」という国の重要文化財に指定された古民家が二つあります。どちらも江戸時代中頃の建築とされ、その頃の建築様式を今に伝える貴重な文化財です。

これらの古民家を実際に見学することで、昔の暮らしを知ると共に、郷土の宝である文化財を守り伝えることの大切さを学びます。

※堀江家住宅については、大規模な補修工事を行っています。令和5年12月末に完成予定です。

利用方法

- 生涯学習課へ申し込み
（1月前を目途に、お早めにお申し込みください）
- 所要時間：1時間～

カリキュラムでの活用例

小学校

- 社会科 かわってきた人々の暮らし（3年）

中学校

- 社会科（公民） 私たちの生活と文化

身近な遺跡を見てみよう



庄原市内には数多くの遺跡があります。古墳、窯跡、山城、たたら遺跡など、それらの遺跡を見ることにより、身近な歴史を知ることができます。

例) 古墳、たたら遺跡、山城跡、屋敷跡等

利用方法

- ・生涯学習課へ申し込み
(1 月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- ・所要時間：1 時間～
- ・冬季は実施が難しいことがあります。

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 かわってきた人々の暮らし (3 年)
歴史 (6 年)

中学校

- ・社会科 (公民) 私たちの生活と文化
(歴史)

石器を見てみよう



実物の石器を手にとってみることで、教科書の内容がより深く理解でき、また歴史をより身近に感じることができます。

利用方法

- ・館へ直接申し込み
- ・生涯学習課へ申し込み

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会 (歴史) 古代までの日本

土器を見てみよう



実施している館
・時悠館、埋蔵文化財センター

実物の土器を手にとってみることで、教科書の内容がより深く理解でき、また歴史をより身近に感じることができます。

利用方法

- ・館へ直接申し込み
- ・生涯学習課へ申し込み

カリキュラムでの活用例

小学校

- ・社会科 縄文のむらから古墳のくにへ(6年)

中学校

- ・社会科 (歴史) 古代までの日本

伝統芸能体験



実施している館

- 生涯学習課

伝統芸能は、祖先や自然への感謝、信仰、地域の歴史や風習と深く結びついて受け継がれてきた、かけがえのない地域の文化です。

地域の伝統文化を知り、またその魅力を感じることによって、郷土への愛着を育むと同時に、文化財を守り伝えることの大切さを学びます。

利用方法

- 生涯学習課へ申し込み
(外部講師に依頼しますので、1 月前を目途に、お早めにお申し込みください)
- 所要時間：1 時間～
- 活動人数：要相談

カリキュラムでの活用例

小学校

- 社会科 かわってきた人々の暮らし (3 年)

中学校

- 社会科 (公民) 私たちの生活と文化